

飛騨高山観光特集

歴史・伝統文化にふれリフレッシュ

飛騨山脈の自然に抱かれた奥飛騨温泉郷

雄大な自然をバックに、野趣あふれる露天風呂で心も体もリフレッシュできるのが飛騨山脈(北アルプス)の麓に広がる奥飛騨温泉郷だ。平湯、福地、新平湯、板尾、新穂高の五つの個性豊かな温泉地がある。

平湯温泉は温泉郷の中で一番古くからある温泉地。関東方面からアクセスも良く、上高地や乗鞍岳のシャトルバスが発着する平湯バスターミナルがある。自家源泉を持つ宿が多く、入浴施設や足湯も充実。

福地温泉は温泉郷の中でも山の静寂に包まれた秘湯的温泉地。温泉街には朝市があり、地元の特産品を味わうことができる。飛騨地域や新穂高の古民家を改装した宿も多い。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客にぎわっている。

奥飛騨温泉郷で売られている湯巡り手形「奥飛騨湯めぐり連入」が宿泊客に好評。豊富な湧出量を誇る奥飛騨の温泉を心ゆくまで楽しめる手形だ。

手形は1枚1200円。手形に付いている3枚の入浴シールを利用して、温泉郷の14の加盟施設からお気に入りの温泉を選んで入浴できる。(施設により枚数が異なる。)

シールをはがすと下地に温泉郷のマークが印刷されており、三つそろって記念品が当たるチャンス。宿泊客に好評な湯巡り手形。好みの湯を見つけてみよう。

020年、日本唯一の2階建て Gondola をリニューアルした。577(33)0517。計画の問い合わせは同社。

個性豊かな五つの温泉地 日本一、100を超える露天風呂

高山市内からはバスで1時間ほどの距離。湯量豊富で、露天風呂は大小合わせて100カ所以上あり、その数日本一といわれる。新穂高ロープウェイや上高地、乗鞍スカイラインなど日本屈指の山岳景勝地も近く、雄大な自然を満喫



に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「たるま」もあり、名水の里ともいわれている。

板尾温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイワナやヤマメなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客にぎわっている。

奥飛騨温泉郷にある新穂高ロープウェイを運営する奥飛騨観光開発(株)は、 Gondola を支えるロープ(支索)の交換作業に伴う運行計画を発表した。

それによると、①5月7日～7月11日は第1ロープウェイ、第2ロープウェイとも運行休止。7月12日～31日は第1のみ通常運行。8月1日から第1、第2とも通常運行となる。

このうち、①について、新穂高温泉駅の売店は通常営業し、7月1日からは同駅の喫茶・軽食「笠ヶ岳」も通常営業する。②では、同駅およびしらかば駅の各施設は通常営業する。

ロープウェイは開業50周年の2階建て Gondola をリニューアルした。577(33)0517。計画の問い合わせは同社。

酒蔵巡るのん兵衛まつり

6酒蔵が参加 ほろ酔い気分



古い町並が残る「まんまちエリア」の酒蔵を巡りながら、日本酒の試飲とまち歩きを楽しむ第5回「飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり」が5月30日から31日まで開催される。主催は飛騨・高山観光コンベンション協会。

のん兵衛まつりは、100年以上の歴史をもつ平瀬・木ノ平田・老田・船坂・原の六つの酒蔵を巡り、それぞれの日本酒を味わってほしい。この酒蔵や中橋観光案内所、高山温泉バスセンターで

「飛騨高山御酒飲帳セット」(3千円)を購入すると、各酒蔵で2種類の日本酒が試飲できる。セットには特製エコバッグと記念杯が付いている。六つの酒蔵で試飲し、スタンプを集めると達成記念のプレゼントがもらえる。また、酒蔵で買い物をする時、千円ごとに押印され、集めた数でペア宿泊券や飛騨牛など豪華賞品が当たる抽選に参加できる。

おり、高山観光の楽しみ方の一つとなっている。行列必至の店が「トラン・フルー」。パン職人のワールドカフェとつながる「クープ・デュ・モン」で3位に入った成瀬正さんが腕をふるう。人気は「ニッシュ」で定番商品から季節のフルーツを使ったものまで種類も豊富。こだわりの一品だ。

創業63年の、昔ながらの素材な店が「こまやパン」。店構えもどこか懐かしさを感じさせる。一番人気は「ミルクホール」で、飛騨牛乳とカスタードで作った甘さ控えめの飛騨たまごクリームがたっぷり入っている。高山駅から近く、観光の途中に立ち寄るのもいい。

このほか、冷めても出たてのようにおいしいという「パスタヴ」、創業30年以上、移動販売で

2020年、日本唯一の2階建て Gondola をリニューアルした。577(33)0517。計画の問い合わせは同社。

参加資格は大会当日18歳以上で、フルマラソン完走経験のある健康な男女。参加費は1000円の部が2万5千円、71歳の部が1万8000円。参加費として世界遺産シリーズオリジナルシャツや世界遺産シリーズオリジナルタオル、完走者には完走メダルが贈られる。

伝統的・古い町並や自然豊かな乗鞍岳を臨むコースを走れるのは「チャレンジャー」だけに与えられた特権。地元スタッフのおもてなしと飛騨牛を地産特産品を堪能できるナイトも楽しみの一つ。

人気の絶品ベーカリー

パン屋の激戦区 お目当ての客も

高山のグルメといえば飛騨牛や高山ラーメンなどが浮かぶが、実はパン屋の激戦区でもある。このパン屋を目的に訪れる観光客もハンパ好きにはたまらない。

創業63年の、昔ながらの素材な店が「こまやパン」。店構えもどこか懐かしさを感じさせる。一番人気は「ミルクホール」で、飛騨牛乳とカスタードで作った甘さ控えめの飛騨たまごクリームがたっぷり入っている。高山駅から近く、観光の途中に立ち寄るのもいい。

このほか、冷めても出たてのようにおいしいという「パスタヴ」、創業30年以上、移動販売で

参加資格は大会当日18歳以上で、フルマラソン完走経験のある健康な男女。参加費は1000円の部が2万5千円、71歳の部が1万8000円。参加費として世界遺産シリーズオリジナルシャツや世界遺産シリーズオリジナルタオル、完走者には完走メダルが贈られる。

伝統的・古い町並や自然豊かな乗鞍岳を臨むコースを走れるのは「チャレンジャー」だけに与えられた特権。地元スタッフのおもてなしと飛騨牛を地産特産品を堪能できるナイトも楽しみの一つ。

高山市の観光スポット、古い町並の周辺は多くの観光客と車両が集中し、「落ち着いてみる」ことができない」といった声も少なくない。市は状況改善のため、車両流入抑制の実証実験を始める。

都市計画課によると、古い町並周辺は歩車分離ができるほどの道は「チャレンジャー」だけに与えられた特権。地元スタッフのおもてなしと飛騨牛を地産特産品を堪能できるナイトも楽しみの一つ。

高山市は、障がい者が観光施設を訪れた際、負担を感じず快適な観光を楽しんでもらうために、モーターツアーを実施する。「ツアー」を通じて現状における課題を抽出し今後の地域づくりを生かす(観光課)。対象は市内在住の障がい者または障がい者介助者。5月から半年間実施する。

風情ある東山遊歩道

長近公生誕500年 思いはせ散策

市民にはおなじみの「ハイジパ」(ハイジパ)、「創業48年、優い愛国と味わいに癒やされる洋菓子パン」が話題となっている。

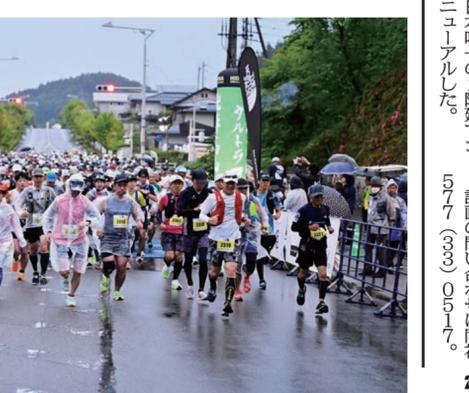
この大会は参加人数に応じた寄付金を日本ユネスコ協会連盟に寄付し、世界遺産の保護・保全に役立てるというイベントでもある。問い合わせは大会事務局、020-8446-024。

高山市の観光スポット、古い町並の周辺は多くの観光客と車両が集中し、「落ち着いてみる」ことができない」といった声も少なくない。市は状況改善のため、車両流入抑制の実証実験を始める。

都市計画課によると、古い町並周辺は歩車分離ができるほどの道は「チャレンジャー」だけに与えられた特権。地元スタッフのおもてなしと飛騨牛を地産特産品を堪能できるナイトも楽しみの一つ。

高山市は、障がい者が観光施設を訪れた際、負担を感じず快適な観光を楽しんでもらうために、モーターツアーを実施する。「ツアー」を通じて現状における課題を抽出し今後の地域づくりを生かす(観光課)。対象は市内在住の障がい者または障がい者介助者。5月から半年間実施する。

難コース「ウルトラマラソン」に挑戦



参加資格は大会当日18歳以上で、フルマラソン完走経験のある健康な男女。参加費は1000円の部が2万5千円、71歳の部が1万8000円。参加費として世界遺産シリーズオリジナルシャツや世界遺産シリーズオリジナルタオル、完走者には完走メダルが贈られる。

伝統的・古い町並や自然豊かな乗鞍岳を臨むコースを走れるのは「チャレンジャー」だけに与えられた特権。地元スタッフのおもてなしと飛騨牛を地産特産品を堪能できるナイトも楽しみの一つ。

高山市は、障がい者が観光施設を訪れた際、負担を感じず快適な観光を楽しんでもらうために、モーターツアーを実施する。「ツアー」を通じて現状における課題を抽出し今後の地域づくりを生かす(観光課)。対象は市内在住の障がい者または障がい者介助者。5月から半年間実施する。